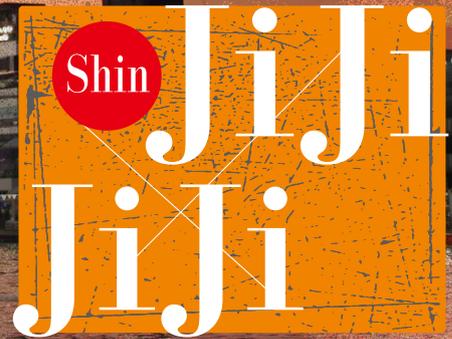


# ジジ放談

ジジ-1: ヤマケイ  
ジジ-2: タナカ



**タナカ** 寒くなってきたからなのかもしれないけど、五十肩になっちゃってね(苦笑)。

**ヤマ** ハハハ。いかにもジジらしい話題だな。

**タナカ** 実は50歳を過ぎてからは初めての痛みなんだよね。15年ぶりにこの痛みを味わっている。

**ヤマ** 味わうつても変な話だけれど(笑)。

**タナカ** それはさておき、今回はこのコーナーでも24年のボートレース界を振り返っておこうか。きちんとしたまとめは他ページにもあるから、あくまで独断と偏見に基づくジジ的振り返りしよう。

**ヤマ** OK。一応断りを入れておくと、締切の関係でこの対談はグランプリ開催直前に行つてます。グランプリとクイーンズクラシックスの話題には触れられないのでその点はご了承ください、と。

**タナカ** というわけで、ヤマケイにとつて24年のボート界で一番印象に残っていることは何?

**ヤマ** 本来なら定松勇樹の5千番台の初SG優勝が最大のトピックだったと思うけれど、個人的にはドラマ性もあったし、最も印象が残っているのは茅原悠紀のオーシャンカップ優勝だな。

**タナカ** 茅原にとつては9年7か月ぶりのSG優勝だった。

**ヤマ** 14年のグランプリで勝つてから、SGでは10年近く優勝できていなかったわけだね。

**タナカ** 茅原ほどの実力を持ちながら、これほど2度目のSG優勝まで期間が空くのは意外だった。

**ヤマ** そうだよな。6コースからのグランプリ優勝はかなりインパクトがあったし、この後にどれだけタイトルを獲得していくのかワクワクしたものだ。オーシャンカップで優勝を争った山口剛も10年のクラシック以来優勝できていなかったでしょ。その2人の争いというのが余計に胸を熱くしたよ。

**タナカ** 確かに。山口は22年にSG4優出、3回準優勝と、あと一步の所までできていたからね。

**ヤマ** 23年だつて前年のグランプリトライアル戦のFで前半のSGに出場できなかったけれど、ダービー→チャレンジカップと連続優出していた。1号艇で迎えたオーシャンカップは是が非でも勝ちたかっただろう。

**タナカ** ストーリーがある分、ジジの感情に訴える物はあつたよね。久しぶりのSG優勝という意味では桐生順平もそうだったね。こちらは6年10か月ぶり。

**ヤマ** 桐生もそんなにSG優勝から遠ざかっていたのは意外だった。

**タナカ** グランプリの常連だからね。そうか、茅原も桐生もグランプリ優勝からなかなかSGで優勝できなかったわけだね。

**ヤマ** 昔はグランプリで優勝した選手は翌年、良くないつてジンクスがよく言われていた。まあ2人の場合は不調つてわけじゃなかったんだらうけれど。

**タナカ** 確かにね。

**ヤマ** 桐生はツケマイで勝つたというのも、ものすごくインパクトがあつた。メモリアルでは馬場貴也がまくり差して勝つたよね。イン以外だと差しかまくり差してついでというとおかしいかもしれないけど、ああいう典型的なツケマイで決まるつてなかなかないと思うんだよ。今のSG、しかも優勝戦のような舞台では。

**タナカ** 地元ワンツーフっていう結果も久しぶりだったし、印象に残る優勝戦だったね。

**ヤマ** ところで戸田は日本で一番インが弱いレース場なわけだ。インから勝つのが普通つて思っているだろう新しいファンは、戸田のSGを見てどう感じたのかは気になるところだよな。

**タナカ** 24年は戸田でクラシック、ダービーと2回SGが行われたわけだけど、2回とも目標売上には届かなかつた。これが、買うのが難しいからと敬遠されたからなのか、別の要因なのかは今後検証していくべきことかもしれないね。

**ヤマ** 確かにね。

**タナカ** 多摩川オールスターはけっこう売れた。もちろん戸田に比べればインが弱いというイメージはなかったのかもしれないけど、初日や2日目はけっこう荒れた。そうそう、売上で言えば丸亀メモリアルがメチャクチャ売れたでしょ。目標額180億円を大幅に上

シン

# 放談

## 👉 今月のお題

- ・24年のボート界を振り返る！
- ・新年のボート界への期待は？



回る約196億円。ここ10年のグランプリ以外のSGでは最高の売上だった。

**ヤマ** なんてだろうね。

**タナカ** 21年の蒲郡メモリアルも約195億円と売れたし、メモリアルは時期がいいのかも。

**ヤマ** 不思議だな。ボータス直後ってことだとオーシャンカップだ

と思うんだけど。

**タナカ** 我々はボータスとは無縁の生活をしているからよく分からないけど(苦笑)。そういえばメモリアルは台風の影響にすごくやき

もきさせられたよね。新幹線が計画運休したり、他のレース場では

中止が続出していたのに、なぜか丸亀だけ中止にならなくて…。

**ヤマ** ああ、そうだったね。外に出ている場合じゃないからと、お

となしく自宅でネット投票って人も多かったのかも(笑)。

**タナカ** 丸亀にとつてあの台風は神風だったかもね(笑)。個人的にはメモリアルが24年で一番印象に

残っているSGかも。そうそう、ここ数年の好売上を反映する形で、

24年4月から選手賞金が増額された。これの影響は原稿を書いたり

する時に感じたな。

**ヤマ** どういうこと？

**タナカ** 例えば24年のグランプリ出場18位は上條暢高で約7千40

0万円。23年の18位は菊地孝平が約6千900万円だった。約50

0万円ほどボーダーが上がったわけだよ。だいたい7千万円を超え

ていけばグランプリ出場安全圏って感じで捉えていたけれど、それが通用しなくなっただんだと、あらためて思われた。

**ヤマ** なるほど。

**タナカ** 山口剛と丸野一樹は7千万円を超えていたのにグランプリ

出場は叶わなかったからね。

**ヤマ** あと印象に残っているのは関浩哉の活躍。地元で開催された

ヤングダービーの優勝を現場で見ているからというのがあるけど、

いよいよ覚醒した感はある。

**タナカ** 23年のグランプリシリーズは1号艇で優出しながら苦杯を

なめたでしょ。あれを引きずらな

かったのは見事だった。

**ヤマ** そうそう。引きずらないどころか、年が明けてBBCトーナ

メントで6号艇で3走しながら優出し、あみだくじで1号艇を引き

当て優勝でしょ。底力と運の強さを見た気がするよ。

**タナカ** 確かにね。

**ヤマ** おとなしそうな顔をしているけど、レースはけっこうアグレッシブだよな。

**タナカ** インタビューすると、語り口は穏やかなんだけど、強気な

感じも漂わすんだよね。レーサー向きの性格なんだと思う。

**ヤマ** 24年は群馬勢が3人もグランプリに出場することになったわけだ。東の果ての群馬支部の勢い

には目を見張るものがある。

たと言え、佐賀支部もそう。この2支部が最大勢力となるとは10年前には想像できなかった。あ、そうだ、佐賀支部と言え、上瀧和則さんの引退も大きな出来事として触れないと。

**ヤマ** ああそうだね。

**タナカ** 上瀧さんの思い出を語ってよ。

**ヤマ** ウム。オレが上瀧さんについて思い浮かぶのは、ずいぶん古い話なんだけど90年のオールスターだ。上瀧さんは21歳で優出したんだよ。6号艇の野中和夫さんが2コースを取って勝ったんだけど、まだ21歳の上瀧さんも5号艇

から4コースを取ってね。強気な若者が出てきたなって思われたな。

**タナカ** へえ。その頃はまだボートレースを知らなかった(苦笑)。

でも上瀧さんの強気なコース取りは深川真二にも受け継がれているわけだし、やはり影響力は大きかったと思う。

**ヤマ** そういえば深川から上瀧さんは麻雀も強いつて話を聞いたことがある。将棋好きだという話も聞かし…。

**タナカ** あるレース場の宿舎に、他の選手をインタビューするため

に行った時に、宿舎の管理人と将棋をする上瀧さんの姿を何度も見たことがある。たぶんいい相手だったんだらうね。

**ヤマ** へえ。それは面白いエピソードだと思ふな。将棋が偉いとい



# Shin Jiji Jiji



うつもりはないけど、頭脳ゲームなことは間違いない。頭も良い人なんだろうね、上瀧さんは。選手会長には、それまでとは違って若くしてなった。就任中に持ちペラ制を廃止したのは大きな仕事だったと思うな。

**タナカ** 確かに。引退と言えば、ちようど今日大きなニュースが届いた。魚谷智之さんが引退するそうだ。

**ヤマ** へえ、そうなんだ。魚谷さんは年間 MVP にも1回なっているよな。

**タナカ** 07年にオーシャンカップ、メモリアルで優勝、GIも3Vして MVP を受賞した。魚谷さんという76期という印象が強いな。原田幸哉、瓜生正義、横西奏恵さんと魚谷さんの同期4人が、切磋琢磨し合っていた。

**ヤマ** 確かにね。SGは瓜生より先に勝っているよな。

**タナカ** 通算SG3勝、GI1勝、兵庫支部の大黒柱的な存在だった。

**ヤマ** おつかれさまでした。

**タナカ** チャレンジカップにも触れておくか。河合佑樹が見事にSG初優勝、と。

**ヤマ** 46位からの大下剋上でグラプリ出場だからね。これもかなりインパクトがあった。

**タナカ** うんうん。  
**ヤマ** チャレンジカップの醍醐味をあらためて感じさせてくれたと思うよ。来年以降も劇的なレースを見せてほしいね。

**タナカ** では25年のボートレース界に望むことを話していいか。

**ヤマ** 新期は「大物」と期待される新人が何人もB級から飛び級でA1級に昇格したよな。129期王者の西岡顕心、127期王者の水愛海。島川海輝や藤田俊祐らが地区選でどれだけやれるか、そしてそこをステップアップにして、その後の記念戦線で成長していく姿を見たいね。

**タナカ** 西岡もそうなんだけど、最近、香川支部の若手が元気だよな。水谷理人は4期目にして早くもA2級に昇格した。23年に中村日向が地区選で優勝したのがいい刺激になったんじゃないかな。

**ヤマ** あの年は中村と末永和也が地区選で優勝して5千番台初のGIと話題になったよな。今年は5千番台のさらなる活躍を期待したい。

**タナカ** 新設されたPGIスピードクイーンメモリアルも楽しみ。

**ヤマ** 選考過程が面白かった。タイムっていう指標が注目されるのはすごく良いことだと思っただけ。昔っから、タイムを出す選手っているじゃん。

**タナカ** 原田幸哉や馬場貴也…。

**ヤマ** 秋山直之なんかもね。レースなんだから、タイムを出す選手が注目されるのは見方としては面白いと思った。男子版のスピードクイーン…、いやスピードキングか(笑)、できたら面白いだろうなと思って。

**タナカ** まあ、レースを新設しないまでも、例えば年間で一番良いタイムを出した人を表彰するとか、そういうことはあってもいいかもしれないね。

**ヤマ** ウム。今話していて、無責任に新しいレースを考えるのはけっこう面白いなって気づいた。タイム以外だと、イン以外の1着率の上位者を集めたり、場別の勝率上位者を集めたり、モーニング王だとかナイター王だとか、いろいろ考えられる(笑)。

**タナカ** まあレースの新設についてはひとまず置くとして、いろいろな観点から表彰するっていうのは面白そうだね。ひまひまさんが喜びそう(笑)。

**ヤマ** 冗談はともかく、今年も明るい話題が多く見たいね。それは本年もよろしくお願いいたします!

ジジー1：ヤマケイ  
ジジー2：タナカ